

子どもたちが 帰ってきたくなる まちへ



新市長 竹田 正博

今回の曾於市長選挙におきまして、多くの市民の皆さまをはじめ各方面から力強いご支援を賜り、第6代曾於市長に就任いたしました竹田正博です。

向こう4年間、本市の舵取り役を担うことになりました。その重責を痛感するとともに身の引き締まる思いです。市民の皆さまの信頼と期待に応えるために、決意を新たに誠心誠意取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

市民の皆さまの声に耳を傾け、市民の皆さまと対話し、市民の皆さまの暮らしと福祉を守り、「子どもたちが帰ってきたくなるまち」を実現するため、次の8項目を軸に今後4年間しっかりと取り組んで参ります。

1 健全財政に向けた取り組み

本市の財政は国県の動向に大きく左右されるため、国の予算編成方針などの動向を注視しながら、財政需要に弾力的かつ的確に対応していく必要があります。よって、健全財政を行うためには、歳出の節約とともに歳入の確保においても重要であり、これまで合併優遇措置であった合併特例

債も終了することから、今後、自主財源確保の最優先課題として「ふるさと納税」30億円の目標を掲げ全力で取り組みます。

2 産業の振興

農業分野では生産コスト削減や、ほ場・農道の再整備を進め、商工業分野では新規起業家への支援体制の充実を図ります。

また新規就業者・起業家・後継者の支援強化策として、市単独支援の年齢・所得制限を撤廃するとともに、外国人実習生・就業者のサポート窓口の一本化を進めます。

3 雇用の創出

都城末吉道路および曾於志布志道路の整備を見据えた企業誘致を推進するとともに、地元企業と連携したインターン制度の導入を進めます。

4 子育て支援

乳幼児のおむつと粉ミルク支援、小児科医の誘致、子どもの遊び場を整備するとともに、小学生・中学生の入学おめでとう祝金制度の創設と教育教材費の無償化を図ることで教育支援にも力を入れ、曾於高校との連携による高等教育の高度化支援も進めます。

市長に聞く

8 防災対策

南海トラフ地震に備え地域コミュニティ組織の防災体制の強化を図ります。またインフラの補修と更新および自然災害を未然に防止するための社会基盤整備に取り組みます。

これらを市職員と一体となって進め、市民の皆さまの声を大切にし「子どもたちが帰ってきたくなるまち」を実現するために、全霊取り組みますので、どうぞよろしくご願ひ申し上げます。

立候補した理由は

加速化する少子高齢化に歯止めをかけ、若い世代の定住に力を注がなければならぬと思いました。

市民の皆さまへ

主役は市民の皆さまです。様々なご意見をお寄せいただき、住みよいまちづくりを一緒に進めていきたいと思います。

5 高齢者福祉の充実

地域交通政策として利便性の高い交通体制を整備することで買い物支援・通院支援を図るとともに、高齢者が参加しやすく、生きがいを感じることが出来る取り組みとして、健康寿命延伸のための屋外競技や通いの場の充実を図ります。また生涯を安心して暮らしていけるよう各種制度の持続可能性を確保していくための取り組みを推進します。

6 観光振興

SKLVと連携した観光ルートへの整備や高規格道路圏の連携による広域観光ルートの構築をはじめ、既存観光施設の充実を図ることで観光客の誘客を進めます。

7 スポーツ振興と文化の継承

青少年提案型予算を創出し、青少年の提案による様々な活動支援に努めます。さらに中学生・高校生の競技力向上を目指し、アスリート育成支援をおこないます。また弥五郎どん祭りの継承体制整備や学校と連携した地域郷土芸能の継承に力を入れ、本市の歴史と伝統を守ります。



竹田 正博 (昭和37年12月生まれ)

末吉町南之郷出身。鹿児島県立岩川高校卒業後、鹿児島鉄道管理局(旧国鉄)に入職。昭和63年に末吉町役場に入庁し畜産課、経済課などに所属。平成27年から経済課長、平成31年から商工観光課長、令和3年から農林振興課長を務め令和5年3月に退職。

趣味
釣り

尊敬する人
両親

座右の銘
感謝

長所
人の話をよく聞くこと

休日の過ごし方
牛の世話

